2018年度 芸術学部美術学科 卒業
黒岩（くろいわ） 笑史（えみし）
「跡雲」（彫刻）
（H.150×D.85×W.180cm）
2018年度 卒業制作
卒業制作優秀作品、芸術資料館買上作品

3つのひかり　未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

丁寧に
一人ひとりを大事に
社会との関わりの中で
学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL:082-830-1500（代）　FAX:082-830-1656
http://www.hiroshima-cu.ac.jp/

市大を志望する皆さんへ ～在学生からのメッセージ～

市大に入学したい！という夢を実現した先輩たちから受験生の皆さんへ、自らの体験をもとに、受験勉強での心構えや応援メッセージなどを書いてもらいました。ぜひ、参考にしてみてください。

Faculty of International Studies

Faculty of Information Sciences

Faculty of Arts

充実した毎日

国際学部国際学科1年生　清水（しみず） 槙（まき）

私が広島市立大学国際学部を志望した理由は、幅広い分野を学べることです。私は大学卒業後、国際関係の仕事をしたいと考えていました。しかしその中で自分が関わりたい、学びたいと思う分野が定まっていなかったので、ここ広島市立大学で広い視点から自分がさらに深く学んでいきたい、と思えることを見つけようと思っていました。この大学は、留学、語学研修、インターンシップなど、貴重なチャンスをたくさん提供してくれます。自分に合った機会を見つけて挑戦することで、自分の興味をさらに深めることができる大学です。また、国際社会に強い関心を持ち、みなさんと同じような意志を持った友達が沢山できるので、互いに刺激し合い、とても充実した大学生活を送ることができると思います。自分の所属学部にとどまらず、他学部の学生と関われる機会が沢山あることもこの大学の良いところのひとつです。
受験勉強はとても大変で、長く辛く感じることもあるかもしれません。しかし、どうせやるなら、終わった後にいい思い出として振り返られるような充実した時間にしたいと思いませんか？進路決定後、みなさんが「頑張ってよかった」「今振り返ると楽しかった」と思えることを願っています。

自分の可能性を大切に

情報科学部1年生　亀谷（かめがい） 優駿（ユウシュン）

皆さん、「情報科学」と聞いて何を思い浮かべますか？いまいちピンとこない人もいるでしょう。情報科学にはよくイメージされやすいプログラミングなどの他に、セキュリティ系、AI系、メディア系、医療系などさまざまな種類があります。ですから情報系の学部だからといって、コンピュータのことばかり学ぶのではなくて、イメージとしては「情報科学＋何か別の分野」と考えた方がおそらく適切です。
そしてこの広島市立大学には情報科学部の他に国際学部、芸術学部があり、自分の専攻以外の授業を履修することができるため、自分の視野をさらに広げることができます。
大学生は勉強だけでなくクラブ・サークル活動に打ち込んだり、留学したり、一言でいえばとても自由です。
なので受験生には今の時間を大切にして、あの時やってよかったと思えるようにしてほしいです！
残りの高校生活を精神的にも身体的にもさまざまな面で「成長」したと思えるものにしてください。市大で待ってます！

憧れの自分を目指して

芸術学部デザイン工芸学科1年生　大西（おおにし） 葉（よう）

ここ広島市立大学には3つの学部があり、互いに良い影響を与えていると思います。私が生活している国際学生寮さらでは、先輩方や、国際学部、情報科学部の同級生、そして留学生と日々コミュニケーションを取り、充実した日々を過ごしています。みんなから学ぶことは多く、私の活力になっています。夏休みには中国に短期留学に行きます。国際学部でなくても、国際的な関わりを持てるところがこの大学の良いところだと思います。私はこの広島市立大学に強い憧れを持って受験生生活を送っていました。受験で大切だと思ったことは、学科と実技の両立です。受験の経験を通して、どれも一生懸命に向き合うことが大切だと感じました。受験は自身と向き合うことになる、とてもつらい期間だと思います。ですがその期間が今後の自分にとって大きなものになるのは確かです。大学に入ると世界がとても広がり、今まで自分の中に無かった考えを持つことができるようになりました。私はまだ憧れの自分にはなれていませんが、どんどん新しい発見をして、理想に近付いていきたいと思います。強い意志を持って焦らずに頑張ってください。応援しています。

Clubs & Circles

広島市立大学の公認クラブ・サークルの活動内容は多種多様で、定番のクラブ・サークルに加えて、ボランティア活動、平和活動、そして創作活動など、ユニークな活動を行う団体があります。

自分の可能性を広げるとともに、学部・学年・学内外などの枠を超えて、新たな「つながり」をつくりましょう！ここでは「おすすめクラブ・サークル」の部長・副部長に活動についてお話を伺いました。

「バレーボール部」

部長 情報科学部知能工学科2年　丸（まる） 照正（てるまさ） さん

—現在の部員数は？
約25人います。

—活動内容は？
週に2回ほど活動しており、スパイク・サーブ練習やチームに分かれて試合をしています。

—どんなクラブですか？
未経験者も高校でインターハイに出場した経験者もいますが、みんなでバレーボールを楽しみながら活動しており、今は秋の大会に向けて練習をしています。

—バレーボール部の魅力は？
卒業生も練習に参加することもあり、部員みんな仲が良いです。部活動以外でも遊びに行ったり、毎年夏にはOBOG会を行い、交流を深めています。

—市大を目指す高校生にメッセージをお願いします。
バレーが好きな人なら楽しく続けられる部活だと思うので、入部をお待ちしています。

@HCUvolley　@hcu_volley

「fit」

部長 国際学部国際学科 3 年 マックスウェル 玲雄（れお） さん

—現在の部員数は？
約30人です。

—活動内容は？
週に3回ほど活動しており、主にトレーニングを中心に行っています。

—どんなクラブですか？
筋トレという名前のイメージにとらわれないフィットネスの部活です。10月に開催される大学祭のイベント「ベストボディichidai」に向けてトレーニングに励んでいます。

—fitの魅力は？
昨年まで愛好会として活動しており、今年から部活として活動を始めたばかりの新しい部です。個性的なメンバーが多く各自の思うフィットネスを行っています。

—市大を目指す高校生にメッセージをお願いします。
運動したいけど何をしたらよいのか分からない人はぜひ fit へ！

「上田宗箇流茶道部」

部長 芸術学部美術学科3年　森脇（もりわき） 咲子（さきこ） さん

—現在の部員数は？
8人です。

—活動内容は？
週に1回、先生にお越しいただきイベントに向けて練習しています。

—どんなイベントをしていますか？
大学では7月に七夕茶会、10月に大学祭で茶会をしています。その他には広島の他大学と一緒に、上田宗箇流茶道のイベントに年5回以上参加しています。

—上田宗箇流茶道部の魅力は？
広島に家元があり学外での活動も多いため、部活を楽しみながら広島のことが断片的にでも分かる部でないかと思います。

—市大を目指す高校生にメッセージをお願いします。
敷居が高いと思われるかもしれませんが、アットホームな部活ですので、男女問わず少しでも興味があればぜひお越しください。

「Camper」

部長 国際学部国際学科2年　市原（いちはら） 遥輝（はるき） さん（写真右）
副部長 国際学部国際学科2年　齊藤（さいとう） 秀太（しゅうた） さん（写真左）

—現在の部員数は？
5人程度です。

—どんなサークルですか？
市原さん　今年から始めたレジャーサークルで、アウトドア系のサークルがあまりなかったので、立ち上げました。今は週に1回ほど活動しています。

—どういう思いでサークルを始めたのですか？
齊藤さん　理論を学んで覚えるだけではなく、挑戦して失敗したとしても体験したことは忘れないと思うので、部を立ち上げました。

—これからどんなサークルにしていきたいですか？
市原さん　まだ計画段階ですが、パラグライダーやパルクールなどいろいろ経験していきたいです。個人の目的はさまざまでいいので部員みんなに得るものがあるよう楽しんで活動していきたいです。

—市大を目指す高校生にメッセージをお願いします。
男女問わず少しでも気になった人は気軽に遊びに来てください！

広島市立大学 広報誌 「west breeze」

W.B.

2019-02　No.78

Hiroshima City University

活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

学びの場所を輝かせるために

松山大学 副学長 経営学部教授　池上（いけがみ） 真人（まさと）さん（国際学研究科（博士後期課程）国際学専攻2005年度修了）

本学の国際学部卒業後に国際学研究科に進学、博士後期課程を修了後、松山大学の教員となり、今年1月に松山大学の副学長に就任された池上さんにお話を伺いました。

一市大を志望した理由を教えてください。

キャンパスにて

当時は市大ができてからまだ1年目ということもあり、「広島にできた新しい大学で学びたい!」という思いがありました。また入学前は文化人類学や社会学について特に興味があったのですが、他にも言語や国際政治などさまざまなものに関心があって、国際学部なら何でも学べると思い、自分にぴったりの学部だと思いました。

一学部・大学院時代にはどのようなことを学びましたか。

学部時代は本当にさまざまなことを学びました。入学前から考えていた文化人類学だけでなく、民族国家論、現象学、言語教育など、興味の赴くままに何にでも手を出しました。ゼミもメインのゼミだけでなく、別のゼミにも所属して活動していました。その中でも、英語教育についてのゼミに出席し、「英語の教科書の中で文化に関する事項はどのように扱われているのか」というテーマで実際の中学校の教科書を分析したことがずく面白くて、この研究を続けてみたいと思い、大学院への進学を決めました。大学院では、英語教育を専門にして、その中での文化の扱い、国際共通語として英語を話す場合の文化の影響などを研究しました。

今、自分が赴任している松山大学と比べても、市大は先生との距離も近く、学ぶ環境が整っていたと感じます。何でも本気で学ぶことができ、先生方もそれに応えてくださいました。今の仕事内容と直接的にはつながっていなくても、それらのさまざまな学びが今の自分にとても役に立っていると感じます。

一修了後のお仕事はどのような経緯で選ばれたのでしょうか。

本気で大学教員になろうと思ったのは、博士前期課程を修了する直前です。なんとなく大学の教員になれればよいなと思っていましたが、同時に本当になれるかについての不安も大きく、迷いがありました。しかし、研究しているのは楽しく、また同時に研究室で後輩たちと一緒に進めていた共同研究もとても楽しかったこと、また何より指導教授の先生の存在が大きかったと思います。先生のような研究者になりたいと思い、博士後期課程に進むときに大学教員になろうと決心して進学しました。

一現在の松山大学でのお仕事について教えてください。

現在は松山大学で副学長をしています。もちろん授業もしています が、主に大学全体のマネージメントをするのが業務で、簡単にいうと大学を良くするための仕事をしています。現在、取り組んでいる主な仕事は、大学の今後8年間の方針を決める長期VISIONの策定や、カリキュラムや授業の質を担保するための制度作り、新しい入試制度の検討などです。その他にも、社会連携も担当していますので、地域の自治体や高校などとの連携にも取り組んでいます。

松山大学正門前にて

一今後の目標などがあれば教えてください。

私は市大で学べて良かったとつくづく思っています。そして、市大の卒業生、修了生であることを誇りに思っています。大学は違いますが、今は自分が赴任している松山大学で、自分が市大に感じているような満足感を学生たちに感じてもらいたいと思い、それを目標に日々の業務に取り組んでいます。

一大学生活の過ごし方でアドバイスはありますか。

大学の4年間は長い期間だと思えるかもしれませんが、決してそんなことはありません。大学生は時間の使い方を自分で決められますので、なんとなく過ごせばあっという間に終わってしまいます。「楽しく過ごしたい」でも何でもよいので、目標を持って、そのためにはどうしたらよいかを考えて、自分にとって有意義な時間の使い方をしてください。市大での4年間はきっとかけがえのない時間になるはずです。

一最後に後輩たちへメッセージをお願いします。

大学時代には自分がこれから進む道を決める大きな岐路に立たされます。自分が進むべき道がすでに見つかっている人は、市大の充実した環境をしっかりと使って、目標に向かってまずは一歩踏み出してください。自分の進みたい道が見つかっていない人は、市大で興味を持ったことを本気で学んでみてください。皆さんがどこに向かって進もうとも、本気で学んで得たものはきっと役に立ちます。そして、その先に進むべき道も見えてくるはずです。私自身がそうでした。皆さんのこれからの活躍を心から願っています。

授業風景

池上真人（いけがみ・まさと）
広島市立大学国際学部国際学科1999年度卒業、同国際学研究科（博士後期課程）国際学専攻2005年度修了。松山大学経営学部教授。2019年1月松山大学副学長就任。

松山大学
https://www.matsuyama-u.ac.jp/

写真でみる市大ライフ

本学では、画像の投稿を通じ本学の魅力を再発見することを目的として、学生および教職員向けに「画像投稿サイト」を開設し、このサイトに投稿された作品の中から、最優秀賞および優秀賞を決定しています。第6回となる今回は、「市大私のとっておき」をテーマに画像投稿を募集しました。多数の応募があり、選考の結果、以下の通り各賞を決定しました。これらの優秀作品を、ぜひ「市大ライフ」の参考にしてください。また、現在第9回「市大ベストショット」をテーマに画像投稿を募集しています。たくさんの投稿をお待ちしています。

《最優秀賞》

①いちだい蔵（トビ）

《優秀賞》

②不思議な廊下

《優秀賞》

③はじまり

《優秀賞》

④おぼろ月と満開の桜

〈作品番号／投稿者〉
①弘中普夫（情報科学研究科教授）　②大見弥功（国際学部国際学科1年）
③宮原萌子（芸術学部デザイン工芸学科1年）　④谷口和弘（情報科学研究科講師）

※学年は受賞当時

学生リポート

この記事は、「学生広報サポーター」に登録している市大生自らが取材をして執筆しました。

新収蔵作品展2019が開催されました!

芸術学部デザイン工芸学科2年　原（はら） 彰吾（しょうご）

広島市立大学芸術資料館で5月31日（金）～6月16日（日）まで開催された「新収蔵作品展2019」では、夕焼けの風景が美しい日本画「刻々と」（小山千尋作）や温かみのある祖父の後ろ姿が印象的な油絵「まほろば」（松尾奈保作）など卒業制作賞上作品のうち5点が展示され、学生の鋭い感性と学生生活で培われた技術を感じることができました。プレ・オープンキャンパスのあった6月16日（日）にはギャラリートークが行われ、作品一点一点を解説付きで見ることができました。作家の紹介や完成に至るまでの経緯、作品に込められた意味を知ると作品への理解がより深まります。

購入作品では立体作品の椅子「F-Chair」（関野央也作）が展示されていました。制作過程がわかる図面も展示されており、デザイナーに求められる技能を見ることができました。芸術資料館に移管された掛軸「現状模写　弥勒来迎図」（岡田志保作）の展示に加え、寄贈作品では油絵とテンペラの混合技法による「祝祭の朝」（大矢英雄作）、広島平和記念公園の「原爆の子の像」の素描（菊地一雄作）など18枚が公開されていました。

さまざまなアプローチから見る作品はどれも印象的で、感性を高めるためには必要なことだと感じました。また、どのように作られたかを知ることも作品を見る上では大切なことであり、作品展を訪れる際には常にそのことを意識したいと思いました。

ギャラリートークの様子

「いちだい」の留学プログラム

広島市立大学では、学生の興味・関心・目的・語学レベルなどに応じて、短期から長期まで豊富な留学プログラムを提供しており、助成制度も用意しています。

○海外交流プログラム

期間は1週間～10日間程度で、夏季および春季の長期休業中に実施します。海外の大学の学生との交流やホームステイ体験などを通じて、国際交流の楽しさを経験するとともに、英語でのコミュニケーション能力の重要性を認識できるなど、海外渡航未経験者歓迎のプログラムです。2018年度は合計22人の学生が参加しました。このプログラムへの参加をきっかけに、海外交流に目覚め、語学留学や長期留学をする学生も出ている好評なプログラムです。

マレーシア・ペナン

<行き先（2019年度予定）>
マレーシア・ペナン（9月上旬）、アメリカ・サンフランシスコ（9月中旬）、シンガポール（3月上旬）

○短期語学留学プログラム

期間は15～31日程度（プログラムによって異なります）で、夏季休業中に実施します。海外の大学が提供する語学プログラムに参加し、寮生活やホームステイを体験します。

アメリカ・ハワイ

現地で歴史や文化も学び、単位も修得できるので、短期間で語学力アップ+αを目指したい学生におすすめです。2018年度は合計37人の学生が参加しました。

<行き先（2019年度予定）>
オルレアン大学（フランス）、ハワイ大学マノア校（アメリカ）、西南大学（中国）、慶北国立大学校（韓国）

○海外学術交流協定大学等への学生派遣プログラム

期間は半年または1年間で、留学時期は大学により異なります。海外での生活に挑戦してみたい、語学力を本格的に伸ばしたい学生に向けた留学プログラムです。派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されます。2018年度は合計24人の学生を派遣しました。

韓国・ソウル

<派遣対象校（2019年6月時点）>
ドイツ5校、フランス2校、アメリカ1校、カナダ2校、韓国3校、中国4校、マレーシア1校、コスタリカ1校（計8ヶ国19校）

○国際学生寮「さくら」での国際交流
国際学生寮「さくら」では、日本人学生3人、留学生3人の6人が共同生活を送るユニットが16ユニット（計96人）あり、日々の生活やイベントを通じて国際交流をし、切磋琢磨しています。

おめでとうございます

■情報科学研究科修了生が電子情報通信学会ディペンダブルコンピューティング研究会を受賞
情報科学研究科修了生の久保田直弥さんが在学中に発表した論文が第5回研究会若手優秀講演賞を受賞。

■情報科学研究科の学生が計測自動制御学会中国支部学術講演会で受賞
2018年12月、情報科学研究科（博士前期課程）2年の三浦大輝さんが発表した論文が、奨励賞を受賞。

■芸術学研究科修了生がNONIO ART WAVE AWARD 2019で受賞
2019年2月、芸術学研究科修了生の諫山元貴さんがNONIO ART WAVE AWARD 2019でグランプリを受賞。

■芸術学部非常勤助教が広島信用金庫日本画奨励賞を受賞
2019年2月、芸術学部非常勤助教の大庭孝文さんの作品が広島信用金庫日本画奨励賞を受賞。

■芸術学研究科の学生が広島赤十字・原爆病院賞を受賞
2019年2月、芸術学研究科（博士前期課程）2年の明壁美幸さんの作品が広島赤十字・原爆病院賞を受賞。

■情報科学部の学生が情報処理学会ソフトウェア工学研究会で受賞
2019年3月、情報科学部情報工学科4年の近藤悠志さんが学生研究賞を受賞。

■情報科学研究科の学生が情報・システムソサイエティ特別企画学生ポスターセッションで受賞
2019年3月、情報科学研究科（博士前期課程）1年の橋田修一さんが優秀ポスター賞を受賞。

■芸術学研究科の学生が呉医療センター・中国がんセンター芸術賞を受賞
2019年3月、芸術学研究科（博士前期課程）1年の松本千里さんの作品が最優秀賞である呉医療センター・中国がんセンター芸術賞を受賞。

■情報科学研究科修了生らがInternational MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2019で受賞
2019年3月、情報科学研究科修了生の菅藤晶太さん、同研究科の目良和也助教、黒澤義明助教、竹澤寿幸教授が発表した論文がMerit Award（優秀賞）を受賞。

■情報科学部の学生らが情報処理学会第81回全国大会で受賞
2019年3月、情報科学部4年の近藤悠志さん、尾曲晃忠さんが学生奨励賞を受賞。

■情報科学研究科の学生が電子情報通信学会ソフトウェアサイエンス研究会で受賞
2019年3月、情報科学研究科（博士前期課程）2年の町頭優輝さんが研究奨励賞を受賞。

■情報科学研究科の教員がIEEE International Symposium on Multiple-Valued Logic 2018で受賞
2019年5月、情報科学研究科の永山忍教授がOutstanding Contributed Paper Award（最優秀論文賞）を受賞。

■情報科学研究科の学生が情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会で受賞
2019年5月、情報科学研究科（博士前期課程）1年の黒田明日香さんが優秀賞を受賞。

※学年は受賞当時

■旧広島藩主浅野氏の初代長晟公の2作目の肖像画（模写）を復元
浅野家の藩主を祀る饒津神社より、浅野長晟公広島入城四百年を記念して、浅野長晟公肖像画（模写）の復元制作の依頼があり、芸術学部荒木亨子准教授監修、芸術学部卒業生の日本画家水越千絵氏制作によれば2018年8月から約半年かけて制作し、2019年3月に饒津神社へ引き渡しました。

■シンガポール交流プログラムを実施
2019年3月、シンガポール交流プログラムに6人の学生が参加し、ホームステイや企業訪問、シンガポールの学生との交流等を行いました。

■「いちだい知のトライアスロン2018年度コメント大賞表彰式を開催
2019年4月、2018年度コメント大賞の受賞者10人への表彰式が行われました。

■留学生歓迎・交流会を開催
2019年4月、学生会館で開催し、100人を超える留学生や日本人学生、そして教職員が集まり交流を深めました。

■3学部合同新入生オリエンテーションを実施
2019年4月、全学部の新入生を対象にした3学部合同オリエンテーションとして、学生生活体験発表と聞くオリエンテーリングや体育館でのレクリエーションを実施し、学部の枠を超えて交流を行いました。

■広島市立大学塾冲縄研修報告会を開催
2019年5月、沖縄研修に参加した広島市立大学塾2期生による報告会を行い、研修を終えて、自分自身が考えたこと、感じたことを、過去・現在・未来をテーマに、報告しました。

■本学学生がごみゼロ・クリーンウォークに参加
2019年6月、広島市内でごみゼロ・クリーンウォークが開催され、袋町公園を出発地点とするコースに本学学生367人が参加し、水通や紙屋町周辺を清掃しながら歩きました。

■2019年度オープンキャンパス開催日のお知らせ
8月4日（日）に、「オープンキャンパス2019」を、10月14日（月・祝）に、「ライブキャンパス2019」をそれぞれ開催します。ライブキャンパスでは「素顔のいちだい編」と題して、「広島市立大学の授業ってどんな授業だろう」と思っている高校生および保護者を対象に、広島市立大学の通常授業を体験してもらいます。
お問い合わせ：広島市立大学美術品企画室企画グループ
（Tel:082-830-1666 E-mail:kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp）

2019年度　学年暦（後期）

後期（10月1日～3月31日）	
10月1日（火）	後期授業開始
10月1日（火）～14日（月・体育の日）	後期履修手続期間
10月14日（月・体育の日）	月曜日の授業実施
10月26日（土）・27日（日）	大学祭
11月7日（木）～11月20日（水）	補講週
11月21日（木）～11月27日（水）	第3ターム試験期間
11月29日（金）	防火・防災訓練の日
12月24日（火）～1月5日（日）	冬季休業
1月17日（金）	開学記念日の振替日
1月20日（月）～1月31日（金）	補講週
2月3日（月）～13日（木）	後期定期試験
2月14日（金）～3月31日（火）	学年末休業
3月23日（月）	卒業式

市大ニュース

■安佐南区役所で展示の芸術作品を入れ替え
2019年3月、あさみなみ芸術化構想の一環として広島市安佐南区役所に展示している本学芸術学部学生と卒業生の作品の入れ替えを行いました。2020年3月まで展示予定ですので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学　広報委員会
○E-mail:kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel:082-830-1666　○Fax:082-830-1656

WEST BREEZEのバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学広報」>「広報誌「WEST BREEZE」」に掲載しています。

広報誌名
広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」（「WEST BREEZE」の略称）は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されました。

編集・発行／広島市立大学 広報委員会
発行日／2019年8月1日